

LINK-J × LINK-J 会員のタイアップイベント

がん領域をめぐる 次世代プラットフォーム

2021
11 | 25 木

日立グローバルライフソリューションズ (日立 GLS) × LINK-J タイアップ企画として『がん領域をめぐる次世代プラットフォーム』をテーマに、セミナーを開催いたします。

セミナー講師には京都大学 iPS 細胞研究所の金子先生、株式会社ニコン、Elixigen Scientific, Inc. を迎え、がん領域の最新の状況をご説明いただきます。

16:00 ~ 17:50 ※要事前登録

- 日本橋ライフサイエンスハブ 来場者定員 100名
- オンライン (ZOOM Webinar で配信予定) 参加者定員 1000名

参加無料



参加登録はこちら

主催: LINK-J 共催: 日立グローバルライフソリューションズ株式会社



iPS細胞を介した免疫細胞の再生と臨床応用

国立大学法人京都大学 iPS 細胞研究所 教授

国立大学法人筑波大学 医学医療系 教授 金子新 先生



免疫細胞を利用したがん医薬品開発をサポートする 細胞評価・選別システム

株式会社ニコン

フェロー ヘルスケア事業部ステムセル事業推進部 部長 清田泰次郎 氏



mRNA を用いた医薬品開発支援の取り組み (高速細胞分化、mRNA-CDMO 事業)

Elixigen Scientific, Inc. VP of RNA Manufacturing service 高木大輔 氏



次世代モジュール型CPC (細胞培養加工施設) 紹介

日立グローバルライフソリューションズ株式会社

空調システムソリューションセンタ CPC 事業推進 Gr 担当部長 松崎和仁 氏

PR

プログラム

時間	内容
16:00 ~ 16:05	オープニング (古江氏)
16:05 ~ 16:35	講演1 (金子先生)
16:35 ~ 16:50	質疑応答
16:50 ~ 17:05	講演2 (清田氏)
17:05 ~ 17:10	質疑応答
17:10 ~ 17:25	講演3 (高木氏)
17:25 ~ 17:30	質疑応答
17:30 ~ 17:45	講演4 (松崎氏)
17:45 ~ 17:50	質疑応答
17:50 ~ 17:55	クロージング

会場へのアクセス

日本橋ライフサイエンスハブ

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1-5-5
室町ちばぎん三井ビルディング 8 階 (COREDO 室町 3)
東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前」駅より直結



オンライン

本イベントには Zoom ウェビナーを使用します。事前に peatix にて参加登録をお済ませください。参加申込後の視聴ページに視聴用リンク・パスワードを掲載しておりますので、ご確認いただき、視聴時間になりましたら「チケット表示」→「イベントに参加」ボタンよりお入りください。ウェビナーの操作方法等はご自身で事前にご確認をお願いいたします。

参加申し込み

下記サイトより事前登録をお願いいたします

<https://lj-hgls1125.peatix.com/>



お問合せ

一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン (LINK-J)

TEL:03-3241-4911 (平日 9:00-17:30)

E-mail:contact@linkj.org web:www.linkj.org

プロフィール

古江 美保 フルエ ミホ

1986 年広島大学歯学部卒、1990 年広島大学大学院卒。同大学病院口腔外科医員を経て、1991 年神奈川県立こども医療センターにて障害者歯科に従事。1993 年より神奈川県立歯科大学学生化学 / 口腔生化学・講師。2005-2006 年英国シェフィールド大学・客員講師としてヒト ES 細胞用無血清培地を開発。帰国後、医薬基盤・健康・栄養研究所 ヒト幹細胞応用開発室・研究リーダーとしてヒト iPS 細胞バンク運営、ニコン社製・細胞培養観察装置 (BioStation CT) を用いてヒト ES/iPS, MSC の品質評価法、無血清・分化誘導法の開発を行った。2017 年ニコンに入社し、再生医療・創薬研究分野における培養細胞の画像評価について事業推進を行っている。株式会社ニコン シニアフェロー / ヘルスケア事業部 副事業部長

金子 新 カネコ シン

京都大学 iPS 細胞研究所・増殖分化機構研究部門 免疫再生治療分野 教授。専門は、免疫再生、腫瘍・感染免疫。筑波大学大学院医学研究科において造血幹細胞遺伝子治療ならびに免疫遺伝子治療の研究を行う。2002 年博士 (医学) 取得。大学院卒業後は、日本学術振興会特別研究員、筑波大学血液病態制御医学 (血液内科) 講師、2005 年サンラファエリ研究所 (イタリア) 研究員を経て、2008 年東京大学医科学研究所助教を務め、2012 年より京都大学 iPS 細胞研究所 同部門准教授、2020 年より、現職、及び、筑波大学医学医療系・臨床医学域 がん免疫治療研究分野教授。2013 年から 17 年まで、iPS 細胞研究所附属細胞調製施設 (FiT) 施設長兼任。2021 年からは同研究所附属動物実験施設 施設長兼任。iPS 細胞の特性を生かした免疫再生治療の実現に向けた研究を行っている。

清田 泰次郎 キヨタ ヤスジロウ

1989 年株式会社ニコン入社、赤外線カメラのシステム設計に約 15 年従事、ニコンの米国研究所勤務も経験。2003 年から細胞培養関連業務へ移り、細胞培養観察装置 (BioStation CT) の開発に従事。培養細胞の客観的な評価手法の開発のため、パターン認識技術と機械学習機能を併せ持つ画像解析ソフトの開発も行う。近年は、再生医療の産業化にとって重要な要素である細胞培養の工程に於ける細胞製造の安定性や均質性を担保する評価手法の開発を手掛ける。現在、株式会社ニコン ヘルスケア事業部 ステムセル事業推進部長を務める。

高木 大輔 タカギ ダイスケ

2017 年、東京理科大学技術経営専門職大学院卒業。1998 年アプライドマテリアルズジャパン株式会社に入社、同社と荏原製作所にて銅配線形成プロセス開発と装置開発を担当。その後、ベンチャー企業の新規事業担当として、東証マザーズへの上場を経験。2007 年に株式会社リコーに移り、プリンタ向けの新規材料開発プロジェクト立上げ後、2013 年にバイオ 3D プリンティングプロジェクトを立上げ、AMED プロジェクトへの参画を経験。2019 年にエリクサジェン・サイエンティフィック社に異動、2021 年 2 月から CDMO 事業の立ち上げを担当し、現在に至る。

松崎 和仁 マツザキ カズヒト

1991 年日立冷熱株式会社入社、クリーン環境に関わる装置設計の研修後、クリーンエア装置販売部門に約 24 年従事。2015 年 10 月よりシステム工事部門に移動。2018 年 12 月細胞製造に関わるエンジニアリングを強化するため、日本橋は再生医療イノベーションセンター」を開設。2020 年 12 月モジュール型 CPC を開発した。現在日立グローバルライフソリューション株式会社 CPC 事業推進部長を務める。